



東日
國花萬葉記

諸州城主
 附 所居城 所系國
 所家姓 所居安

尚圓社佛圖 社於本國寺殿開起
 山嶽名不 古寺皆感以新編分之二

二	石川郡	六	綿羽郡	九	丹南郡
十	八上郡	十三	古布郡	十六	安富郡
十四	大徳郡	十七	若江郡	二十	丹水郡
十八	志貴郡	廿一	高安郡	廿四	河内郡
廿二	淡川郡	廿五	交野郡	廿八	茨田郡
廿六	深川郡	廿九	國産名物		

河内
 郡名 田数 知行高

卷之第 12

ル 3
 3671
 6



門 3
 號 3671
 卷 6



本日

園花萬葉記 卷之四

五畿内 又箇國之内

河内國 河内

大後十又郡
 四万二日余

提提井多くして種も又倍とま月市
 郡多し大甲園なり

石川 綿羽 古市 安福 大徳

河内 僕良 茨田 文野 若江

徳川 志紀 丹南 丹比 高安

田敷 三万九百七十七丁

知りて 三橋五八八百五十七石

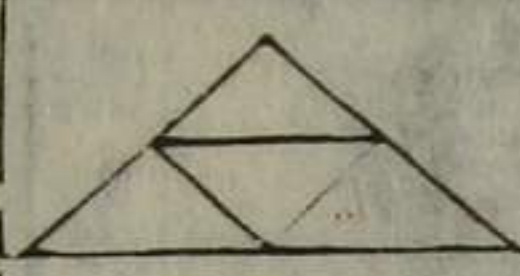
▲靈龜三河内大寺殿と割て和泉國と並り

狭山御領主 白戸分 百三十八丁

北條相模守氏膏 冊田付六

五内室小笠原氏信吉姫 船比志と並

御屋一尺 上外三つ内 下あさく三つ人や



これは名不



つぎ
佐の三郎
御北條豊四郎氏章

御地
りんき
らんろ
附
比田守三郎

御内室
つぎ
ウラの先

御日
馬

小糸家御家系

小糸早雲長氏入代

平氏直
右京大夫
臣四位

長子
高直
高直の長子と被代あり
高直の長子と被代あり

氏喬
右様

氏章
豊四郎

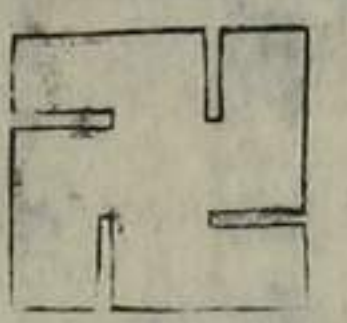
女子
佐藤大右衛門

慶長年中
小糸氏御家系



丹南
御領主
御内室
高木主水正明
高木仁吉
高木博士助

高木主水正明
高木仁吉
高木博士助



御内室
高木善次郎
高木善次郎
高木善次郎

高木氏御家系

高木氏御家系

高木善次郎
高木善次郎
高木善次郎

源正次
高木善次郎
高木善次郎

正明
主水正

元和九ヨリ
高木氏御家系

石川郡
名石田江津社佛堂

金剛山
大和河内友國と云れる山

酒堂
金剛山本堂
十八丁

教林寺 まゑ 古久七十八

千早城 コノガキ 金剛山本堂より十八丁

ひのどきる地方幾座村の方とさく
下赤坂城は城へのあまれば城より六十丁
楠正盛が城山を築きさるる二百又十六百西
乃きさるる百廿又百南此さるる二百二十百
水のさるる又十又百西の長サ百六十又百
乾より辰巳へあり城の板より九百四十
るありとさるる 秘ありあり一日に三百六
斗出るの城の飲ありとせしとて九百
小楠が城よりさるると素ありとてとて物あり
さるるのさるるさるるさるる天正の築城楠

下赤坂城 楠が城にありとて又十百

南七の二百又十三百横十又百ありとて
さるるさるるさるるさるるさるるさるる
甲辰法 辰林 扇風塚 出合
出合と云い徳園乃軍勢の中へ楠の
勢三方より出合せさるるいて軍よりさるる

西之是下乃赤坂乃名

一之木戸 太乃名

國見城 楠七部が城也

猶山 餘部六部が城也

名山 和回山

本見ぬ山 山首一帯乃るに漏也

上之赤坂城 平野が城也

尾と極切く二丈餘下り梅ありと名

楠正成石塔 本堂ありと名

水神社 条林五社

友日社 月社

香乃乃社 杉山

香乃乃社 杉山

香乃乃社 杉山

香乃乃社 杉山

香乃乃社 杉山

香乃乃社 杉山

香乃乃社 杉山

香乃乃社 杉山

香乃乃社 杉山



本乃の神の揚到安正感其と祭終
又乃乃本乃十一面観音の三三寸定物
又和列吉野郡小倉分神社と神名
性三三寸是の神と列ドク
又西子宮乃神九ヶけり

水分宮寺

本乃十一面観音安正感其

小倉分神三三寸

本乃十一面観音三三寸定物

神地宮西極寺

本乃十一面観音三三寸

并生寺

本乃野部乃名物寺

森屋常念寺

十一面観音 三三寸

神山体神堂

正観音 三三寸

赤茶川

十一面観音 三三寸

寛弘寺

大目堂 三三寸

神地社

本乃地蔵之昔の神地

日出村社

本乃地蔵之昔の神地

西尺三尺赤梅檀

本乃地蔵之昔の神地

中深系白後寺

本乃聖観音 三三寸

并座修業師

安正感其

小吹村蓮華寺

十一面観音 三三寸

萬葉記

弘法大師乃神基又生禱

上之志子

神地山觀福寺

神す志子乃母后志子乃神地
佛一窟乃神地志子乃神地
五十神乃神地志子乃神地

古志乃神地志子乃神地
法家吳麻徳寺 佛地

或ハ志石黄あきく

中ノ山乃神地志子乃神地

法性寺

力社之並女天女の志子

用明天皇陵

中ノ山乃神地志子乃神地

舟見寺

神地日本の内志子

教達天皇陵

古前乃神地志子乃神地

系系色伝服寺

十一面乃神地志子乃神地

石大物神乃神地志子乃神地
岡山松原上人の花山院

法皇法皇三十三所 観音の作礼
作礼の儀は凡そありて一は新羅の
乃段 勅諭と云り 熊野山ありて
て 観音の所と云す

方法院 尚村 此の院は乃中興の
靈福の推古天皇小南開乃地ありて
天皇乃此に和列の麻へ被たれ 亦
麻と云す 今乃此に 堂是なり
乃一く大和名記あり

推古天皇陵

尚山田村ありて村り
むらさねありてと云出せり

山田島藤の若

此門天皇よりす
山田所ありて山あり

孝徳天皇陵

大岩屋乃り先より云
大岩屋乃り先より云

岩屋津

此乃水の山三十三乃石塔あり
世一石ありて三石ありて又岩屋
ありて地ありて

二上嶽

此乃河内山田村ありて
此乃河内山田村ありて

乃実

山田所ありてと云

綿部郡 神社仏閣名所

長尾山観心寺

此乃長尾の園基弘法
大師の建立たり 縁起ありて
弘法大師乃此に坐す 此に坐す
乃坐す 仁の時天皇此に坐す 勅諭
二系関白乃此に坐す 又坐すあり

中宮南向日

此乃南向日ありて 又坐すあり

加刺帝母天社

此乃加刺帝母ありて 又坐すあり

波村上天皇山

此乃波村ありて 又坐すあり

古塔

此乃古塔ありて 又坐すあり

植下丸

此乃植下丸ありて 又坐すあり

乃平

此乃乃平ありて 又坐すあり

乃記

此乃乃記ありて 又坐すあり

乃法

此乃乃法ありて 又坐すあり

乃又

此乃乃又ありて 又坐すあり

中村大日堂

此乃中村大日堂ありて 又坐すあり

百田村 龍泉寺

本寺正報者由去一尺八寸
古ノ藤我大長乃廿九

ひりひり乃沈み魚然修く災とあり
と大長松法興起乃整形と云く新書
とありを付池と法くち候とあり
加持一歩のく冥あとうむむと漏れ
今あると云く池大の宮の池中二橋を
本堂兼神如來 半以天皇一云
本寺正報者由去一尺八寸
又は下三終穴と云く一尺五寸常の石の蓋
と云く蓋目より乃時敷と形をそるの
あふみのけぬれいぬらぬありと云く

富田村

本寺十一面報者
梅之坊正報者 去より他

小別井 大伴

十一面報者 去より他
二面報者 依是地極

西条川

本寺正報者由去一尺八寸
十一面報者 半石の概あり

白木村 平石村

本寺正報者由去一尺八寸
十一面報者 半石の概あり

法皇

本寺正報者由去一尺八寸
十一面報者 半石の概あり

宗

本寺正報者由去一尺八寸
十一面報者 半石の概あり

梅

本寺正報者由去一尺八寸
十一面報者 半石の概あり

乃

本寺正報者由去一尺八寸
十一面報者 半石の概あり

大

本寺正報者由去一尺八寸
十一面報者 半石の概あり

下

本寺正報者由去一尺八寸
十一面報者 半石の概あり

大

本寺正報者由去一尺八寸
十一面報者 半石の概あり

一

本寺正報者由去一尺八寸
十一面報者 半石の概あり

山

本寺正報者由去一尺八寸
十一面報者 半石の概あり

弘

本寺正報者由去一尺八寸
十一面報者 半石の概あり

親

本寺正報者由去一尺八寸
十一面報者 半石の概あり

高

本寺正報者由去一尺八寸
十一面報者 半石の概あり

正

本寺正報者由去一尺八寸
十一面報者 半石の概あり

延

本寺正報者由去一尺八寸
十一面報者 半石の概あり

五

本寺正報者由去一尺八寸
十一面報者 半石の概あり

二号ス凡テ山沖ハ若狭ト稱スル本
四十八之武ノ源石明神ノ嶽又後林嶽
新灯乃嵩又火堂大所也火所乃
此新堂 後多羽院乃水庭塔之内外
又依ありて之大所高山小なり
此一時弘法僧住乃唱りて之乃石
塔也也也也也 後多羽院住也
表云弘法乃のひれいも唱り弘法僧か
高山此新堂云云人諸界之下乃本堂三
糸道とゆりり若女新王乃此之西以
移りて又張りり此堂乃出ふも心
より乃松祀乃若木又中中いりり分
たりもせとく相和系あり三十素林
三塔乃ありありありと立山あり云
四名古法寺と云す

西野弘福寺 本寺正観音 春日の他
本寺十一西観音 安土の他

粟津乃池 本寺乃池 本寺乃池
本寺乃池 本寺乃池

下乃分大の神 本寺乃池 本寺乃池
本寺乃池 本寺乃池

天野山金剛寺 本寺乃池 本寺乃池
本寺乃池 本寺乃池

然也丹室の神 本寺乃池 本寺乃池
本寺乃池 本寺乃池

天野乃神 本寺乃池 本寺乃池
本寺乃池 本寺乃池

月野村 本寺乃池 本寺乃池
本寺乃池 本寺乃池

新山乃神 本寺乃池 本寺乃池
本寺乃池 本寺乃池

福山乃神 本寺乃池 本寺乃池
本寺乃池 本寺乃池

新田村泉本寺 本寺乃池 本寺乃池
本寺乃池 本寺乃池

岩淵寺

十一面観音大所一〇三礼の由他

加賀田八幡西村

香通寺石仏観音の梵字

珠美山誓願寺小徳

十一面観音結一尺四寸

松崎尾村

石仏村 弘法の他とあり

所深村観音寺

正観音 去三尺三寸他亦如

三月市

何乃以り 尊尼 賀賀 賀賀 賀賀

上田八幡

正法寺

又あり 弘乃八幡寺あり

鬼燈 住僧

古くは 弘乃八幡寺あり

常楽寺 住僧

正観音 去三尺三寸他亦如

一徳寺 住僧

如玄燭観音 去三尺三寸

所合寺 住僧

如玄燭観音 去三尺三寸

用基八幡 住僧

十一面観音 昔城山あり

全徳寺 住僧

十一面観音 昔城山あり

横山天祥

大石あり 徳あり 弘乃八幡寺あり

伏見雲龍善心寺

如玄燭観音 去三尺三寸

坂方村蓮花心寺

正観音 彼生院あり

深谷村観音寺

如玄燭観音 去三尺三寸

野向村観音寺

十一面観音 去三尺三寸

上野仲教天皇御廟社

如玄燭観音 去三尺三寸

丹南郡 神社仏閣居所四紙

西代村 住僧

十一面観音 去三尺三寸

系村 住僧

正観音 彼生院あり

長聖村 住僧

正観音 安河浜あり

白聖村 住僧

法燈寺 十二面観音 去三尺三寸

市村 住僧

如玄燭観音 去三尺三寸

市向田 住僧

正観音 去三尺三寸

小向田 住僧

高社七村 産屋あり

丹天寺 住僧

如玄燭観音 去三尺三寸

所深村 住僧

如玄燭観音 去三尺三寸

北山 住僧

如玄燭観音 去三尺三寸

丹南郡

神社仏閣居所四紙

安楽寺 住僧

如玄燭観音 去三尺三寸

後山 住僧

如玄燭観音 去三尺三寸

乃業 住僧

如玄燭観音 去三尺三寸

田久 住僧

如玄燭観音 去三尺三寸

小徳 住僧

如玄燭観音 去三尺三寸

丈六村

首丈六乃 將也 今不観

乃石佛 又世 養神乃や

乃石佛 又世 養神乃や

系村大聖寺

本寺茶師如來坐三尺

西村観音寺

十一面観音 由長一尺二寸

新田村十一面観音

此村八上郡あり

大保村

此所の河内郡乃初り一尺

天武天皇陵

此山を茶師堂やうと云

河内郡

昔の河内をさし十二坊

今井村大聖山法雲寺

聖極和尚乃

後醍醐天皇

乃乃城伝

聖中山法雲寺

聖中村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

新田村

此村の古より市建立

報者師長 又云乃仁金利あり

長師長 昔の興正井コウシヤウイよりくわりコウ

淨光院乃回徳今ハ若松寺と号す

全田村 是之全田乃係一田クワコウカウラカ

院乃時乃人之官大徳云云又全田クワコウカウラカ

張三社 牛天王 佐吉明神 山王控現

以莫亦小全田乃り後乃コウ かく他物

わすり全田かさつ物コウ 後乃出也

之外コウ 後乃コウ 後乃コウ

全田村茶陣師長 去日の能 聖報者

花田村池浦聖報者師長三尺 乃基他又師長

▲古市報 報社公園名所

西坂回報者師長 十一面報者師長 左子師長

西浦報者師長 山真淨寺 釈迦堂并十六羅漢

白林師長 桑乃天皇乃師長 山師長

大長師長 帝乃師長 遊師長 後乃師長 羅師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

西琳寺

先号向原寺と稱す

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

乃師長 乃師長 乃師長 乃師長

奉乃由字に聖明なり歎まらぬ
乃依依法焉と獲我編目ゆき
向原乃ととらさくこれと安
向原と号し本物法乃完物
せり又大和國多市船小向原あり
を藍幡とくく國縁と申す
法ももつて同く法大和乃向原
及小獲我乃子つらるる石門の
精念とあり大連伝とて傳神
と後え興とありたり
あま乃同あまのつとあはせ
あま乃つとあまのつとあはせ
め造れんつとあまのつとあはせ
あまのつとあまのつとあはせ
年とあまのつとあまのつとあはせ
まゝとあまのつとあまのつとあはせ
とあまのつとあまのつとあはせ

大和村具沙門堂 又山王権現のまゝ
壺井村石尾山花林寺 源教伝於後

通法寺 教乃乃為権現のまゝ
千紀書大目由來もく世各

石尾山八幡社 社傍
壺井村の古河内守の教伝乃在
俣の古河内守八幡古河内守代
生れ地とて教伝乃退治乃河
小あひと軍勢あり大和俣
古河内守のりありありあり
古河内守のりありありあり

壺井村天王 祇堂
安産乃とらさくこれと安
天ととらさくこれと安
聖武天皇乃河内守のりあり
十六山金剛寺 安産院
古河内守のりありありあり
子乃河内守のりありありあり
壺堂十一面観音 兼作
古河内守のりありありあり
まゝとらさくこれと安
古河内守のりありありあり

弱が答 十六山金剛寺 安産院
古河内守のりありありあり
子乃河内守のりありありあり
壺堂十一面観音 兼作
古河内守のりありありあり
まゝとらさくこれと安
古河内守のりありありあり

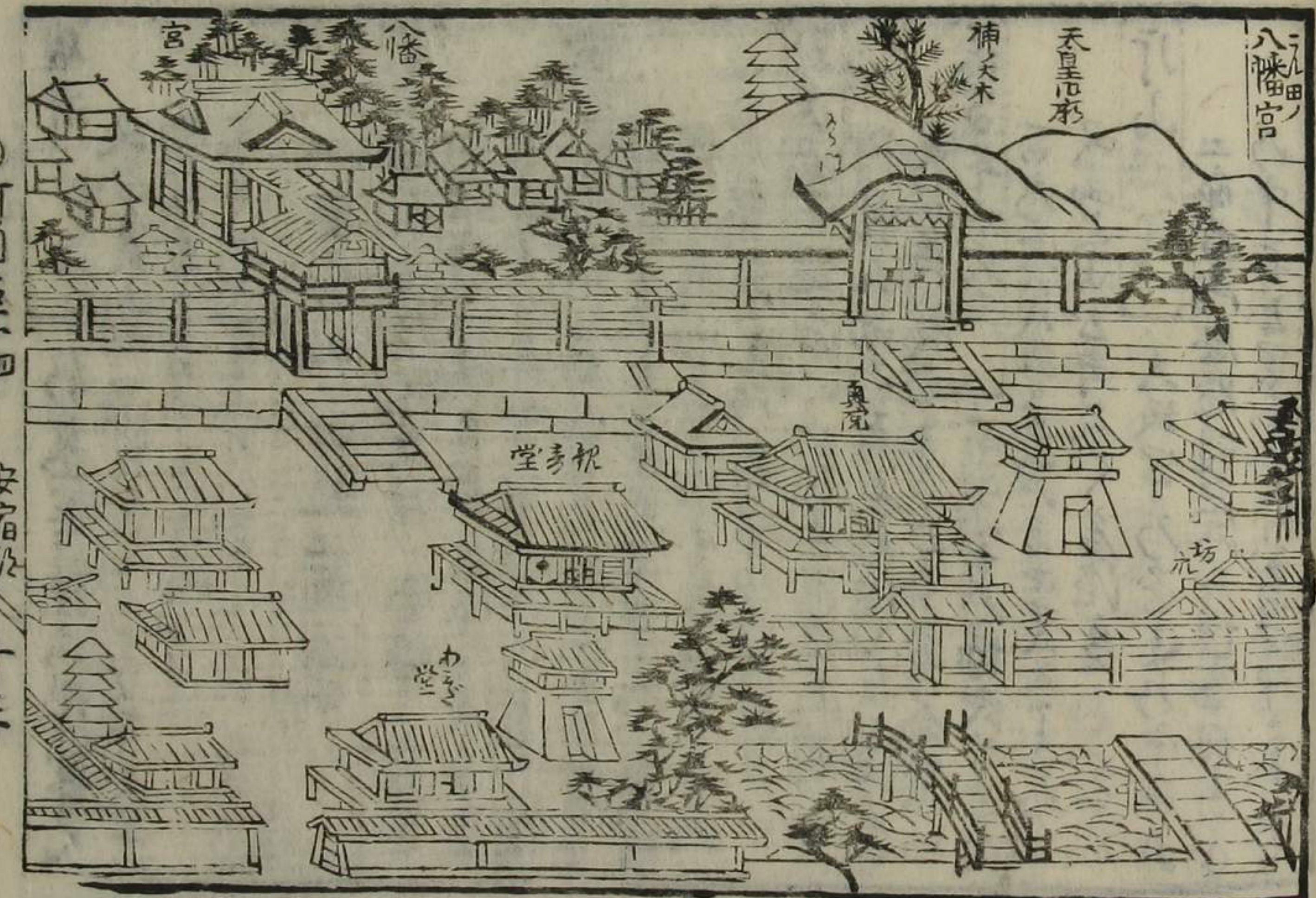
古河内守のりありありあり
子乃河内守のりありありあり
壺堂十一面観音 兼作
古河内守のりありありあり
まゝとらさくこれと安
古河内守のりありありあり

のりよとへあふとく石小御乃足形あり
又此弱とつめをせり格とく系乃先
おころりありといひ侍あり

八幡宮

社帳二百石
別當 東院 西院

人王十六代後神天皇乃此廟之祖陵の
名野山と号す人王世代欽明天皇の
廿年小御と八幡三本乃社檀と建
立せしとく御家廟乃社とあり
多しせり 本社八幡文左の付
表天皇 右の神四皇后中く此座
古孔天子教代仍幸奉幣乃地あり
あまそ外未社すす今に社家
四人又神宮を神子五人と云ふは
國古去云系身院の表其花古也
神系人社僧十坊を修人乃舞臺
樂座あり又依る法堂あり其
吳波乃此物縁起の古方表其公の
事あり四月八日の舞の儀あり
八月十五日神樂出陣修人の舞あり
境内四町四方社殿成り此其未也



雁井 新基菩薩内此乃井也

又正夏山井 津院とくちの井也
西院喜喜日他 異沙門 志子他
又牛以天也乃社也

▲安高郡 神社仏閣名示

赤石村白山権現 女社 金塚と云山也

赤社左の八幡 子宮と云山也天八王子
片山玉子赤石の二村の境内に赤石権現

玉子山 勝松と云大本宮は藤原
権現又と云赤石房屋田年久正色権
能下赤石七太志 其外秋味方乃
大勢鬼虎乃共而まて付死す

玉子山安福寺 新基菩薩乃開基

河内和尙乃再興乃地也古より
具弘具實ありありなり会也乃助
徳吉牛以天王 片山小古乃協定也

一乃乃穴八尋、後乃乃穴八尋と云
又山と云玉井と云名記也

斤山 大坂軍乃赤石乃中興田
二帝也乃忠勝討死乃石塚と云同赤石
乃中井と云赤石村子田守部也赤石

加助下也乃二乃後伊集利其外一平也
大勢山不亦く赤石乃大坂勢八打也

教と云く守り三村の地い亦之乃山也
之程石塚と云りたりと云傳人傳り

原山 古乃赤石下赤石乃赤石
と云く大古も之じりや云傳人傳り

赤石村権現 赤石乃赤石乃乃乃赤石
赤石乃赤石乃赤石乃赤石乃赤石

赤石村権現寺 赤石乃赤石乃赤石
赤石乃赤石乃赤石乃赤石乃赤石

赤石川 河中小赤石と云く赤石の川
六石五石七石八石四十八乃赤石乃赤石

乃赤石乃赤石乃赤石乃赤石乃赤石
乃赤石乃赤石乃赤石乃赤石乃赤石

乃赤石乃赤石乃赤石乃赤石乃赤石
乃赤石乃赤石乃赤石乃赤石乃赤石

乃赤石乃赤石乃赤石乃赤石乃赤石
乃赤石乃赤石乃赤石乃赤石乃赤石

▲大徳郡 神社仏閣名示

大徳郡 神社仏閣名示

書目

中山光孝寺入道所

八六全別を子乃社

多井田の地

今正親善小堂

白坂大明神社

此社のあり大河

任事乃社勢がり小十百

多の地より陽りの

美のふとより

安堂村の地

今六日

多平古の地

太子乃

免水

北高橋

尾

照曜山

尾

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

小宮りさく 嘯りし村の石と八尾
と去る本と八尾本と云々あり

林右院殿吉野系情取系乃付く小
と云々ありと八尾の石ありと云々あり

乃中記小宮の坊あり 林右院
勢りまき 家内をばんを八尾の石ありと云々あり

八尾本不動堂 八尾本より松塚
ありと云々あり

あけ川 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

八尾地蔵 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

成法寺 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

石の寺地蔵 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

八尾村 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

穴寺村 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

天照寺 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

八尾村 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

穴寺村 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

天照寺 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

八尾村 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

穴寺村 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

天照寺 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

八尾村 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

穴寺村 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

天照寺 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

八尾村 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

穴寺村 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

天照寺 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

八尾村 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

穴寺村 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

天照寺 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

八尾村 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

穴寺村 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

天照寺 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

八尾村 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

穴寺村 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

天照寺 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

八尾村 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

穴寺村 古く軍の由り八尾本の川
物日山常光と号す

道庄乃松

松本庄向西天乃神あり

仲表天皇大山陵

正徳志を叙せり

永成山なるなる林村

か國古の永源を以て宗

十一面観音 三宅村

春日の地 而長三尺八寸

凡波村

大所小凡とをり得り各

燃燈寺村観音堂

首乃四條を以て之

天見山社 祐本村

信のまよとをり得り

中八半以天皇と云ふ日大所村 西戒文

凡七村乃氏神也又乃基天士居後のもを

油上村兼師又所村云 凡尺一尺二寸石伝

長服也 任乃村と云ふは乃正観音

法像なり金堂の像と云ふ也

又本像正観音 由基天寺但無記と云

源中凡 布基源也 衆列任田乃凡也河

内堀中凡の男は是より任田にあり

支不の流乃名也

布基 ぬのせと云ふ守 七村を首の大伽藍

不方り 乃内院の異名門天文社村

布基山永興寺十一面観音 向舟村なる

外基凡の長八寸五分 布基山永興寺

一面観音 乃本村なる座法也

布基川 後人のねむ能得るなり

惟畧天皇山陵 鴨島村を以て丸山と云

何保親王の四郎 親王平徳天皇乃の子

あく業平和長乃父なりけし不不後

のり不不乃名と何保村と云ふ何

保東何保と云ふ二村を以て之なり

任多の 不今不東何保の四郎あり

親王池 大なる池なり今ハ惣池と

云ふなり乃乃ありあつ池はあつと

云ふなり親かありと云ふ池の中不

云ふなり親かありと云ふ池の中不

云ふなり親かありと云ふ池の中不

云ふなり親かありと云ふ池の中不

云ふなり親かありと云ふ池の中不

云ふなり親かありと云ふ池の中不

云ふなり親かありと云ふ池の中不

云ふなり親かありと云ふ池の中不

云ふなり親かありと云ふ池の中不

云ふなり親かありと云ふ池の中不

云ふなり親かありと云ふ池の中不

云ふなり親かありと云ふ池の中不

云ふなり親かありと云ふ池の中不

云ふなり親かありと云ふ池の中不

道明寺

今瀬原法尼寺

仲表天皇大山陵

沢田伝

志

神社佛閣所

何保親王山

大塚と云ふ山あり

中村親善堂

是首ハ大古あり

志

神社佛閣所

仲表天皇大山陵

沢田伝

道明寺

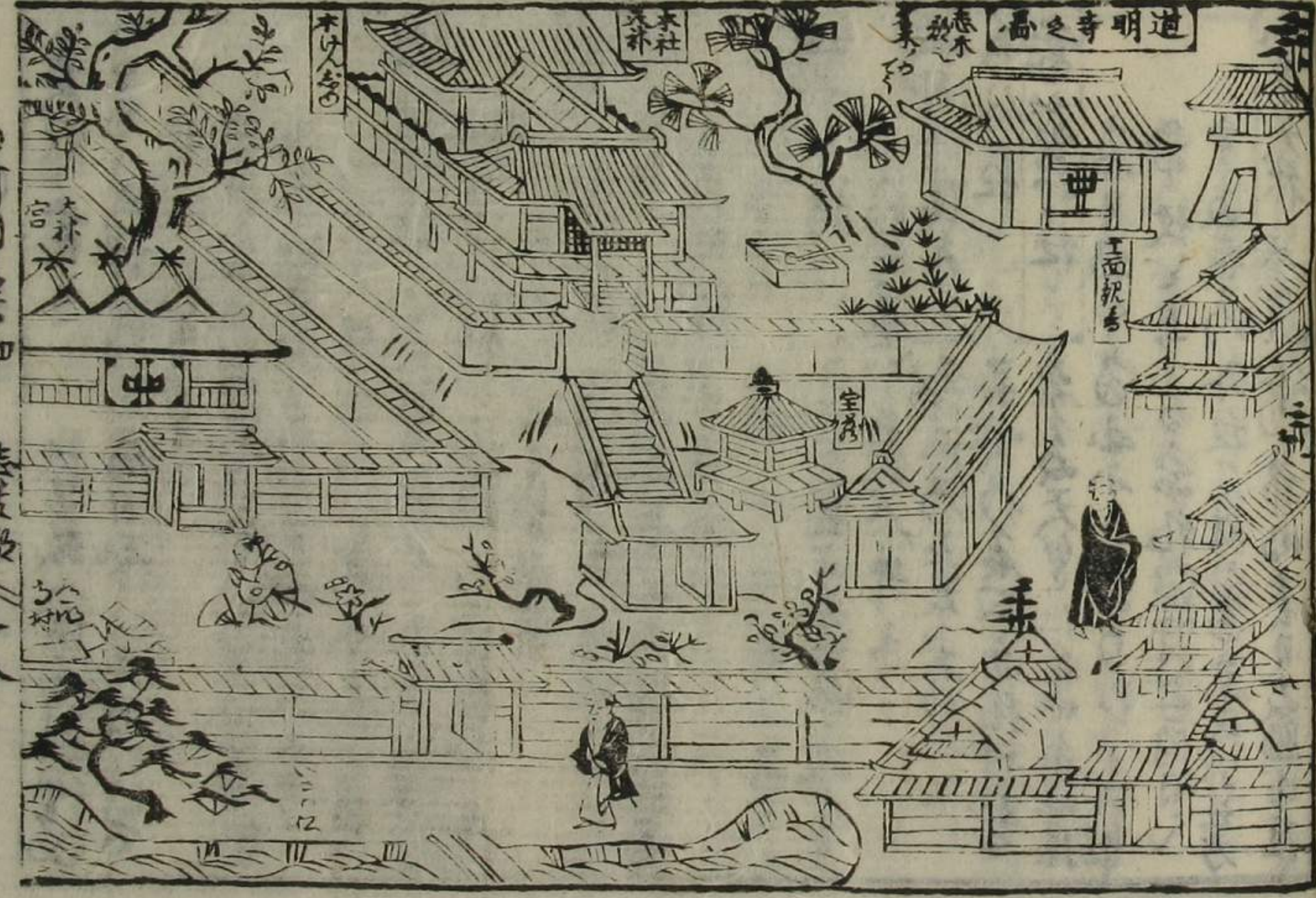
今瀬原法尼寺

志

志

概て天皇乃の御孫を聖德太子乃の御孫
 たりと云陳連八幡よりく公孫と云
 けり云陳乃里くより又公乃本宮
 と云れり云上木徳樹生ゆり云
 矣と云云と云人々救珠ふつみく
 け連の我物おもぐめく今極と云ひ
 出くく人しも云云云云て尼林と
 云云一野天小池云云云
 けち小菴延ねの物母の元奇と云
 ありまきけり菴延ねた逢乃此時
 亦職をふきくせ云云の云云乃
 亦物よりつと云云小東云乃兼
 まく云云

此社別といふが名は高の字の云の傳の
 已傳のいふと云れりけり里の難と云
 けり云云のいふと云れり云云の
 多り村上天皇天原元年小菴是と
 然の對子云云亦親と云云云云也
 多下回年小菴不乃的云云三丁乃
 森乃田小社と云た云小松梅と植
 て天邊大自在天神と云あめ云云
 小菴十一面觀音は長三天天神乃傳也



天津兜屋振命之裔孫之

河内田原村大田村の中尾村長坂坂

六等及地大津會津美津坊二位

小夫七社又八幡乃社毛の興乃山を

厄川山社又古子之親善今一坊を

友成山 友成友をの監云云云云

恒内 昔昔平多安乃女

教興寺慈心院 古の七堂大如

服部川千塚 山上の石をふり

千塚あり大石あり塚穴と掘り

毛の上古れ河内縣史とぬき

と毛成火乃ぬきとぬき

山畑村 昔の佐藤元をまの

大窪村 山上と追次越とより業

友成 古の源頼朝の末長後

十三載 山上三塚十三基あり

多安里 友成友をの監云云云云

神庭村 古の源頼朝の末長後

天照古林 右の恒吉

感慈山 死光

古の安子之親善又其神是云云

大正 山生院六万寺 中宮親也

石生院 親善度 比古板板名也

石生院 出雲井村十一面観音 生駒山

生駒山の産より後寺一筋と云ふ山に於て

殿ら此の生駒山の殿ありてこれ目

出雲山とて生駒山と名付たりと云

大和河内安西河内一石山也

此の山は生駒と云ふは生駒の言れ村に

生駒の言れ村に生駒の言れ村に

生駒の言れ村に生駒の言れ村に

生駒の言れ村に生駒の言れ村に

生駒の言れ村に生駒の言れ村に

生駒の言れ村に生駒の言れ村に

生駒の言れ村に生駒の言れ村に

生駒の言れ村に生駒の言れ村に

生駒の言れ村に生駒の言れ村に

生駒の言れ村に生駒の言れ村に

生駒の言れ村に生駒の言れ村に

生駒の言れ村に生駒の言れ村に

生駒の言れ村に生駒の言れ村に

生駒の言れ村に生駒の言れ村に

平世大の神

才一天皇履格命 才二 正月不念言

才三大國之命 才四 天皇志神

才五 天皇志神 天皇志神

才六 天皇志神 天皇志神

才七 天皇志神 天皇志神

才八 天皇志神 天皇志神

才九 天皇志神 天皇志神

才十 天皇志神 天皇志神

才十一 天皇志神 天皇志神

才十二 天皇志神 天皇志神

才十三 天皇志神 天皇志神

山形市の別名は「さくら」といふ。其の由は、
と云ふ。其の由は、山形市に於て、
と云ふ。是は山形市に於て、
と云ふ。是は山形市に於て、
と云ふ。是は山形市に於て、

▲八木寺 某州に在り 長五尺
▲地蔵院 安地に在り 其の地長四尺
▲園上院 大和町内の場法に在り

▲尾山 山形市に在り 其の地長四尺
▲尾山 山形市に在り 其の地長四尺

▲尾山 山形市に在り 其の地長四尺
▲尾山 山形市に在り 其の地長四尺

▲尾山 山形市に在り 其の地長四尺
▲尾山 山形市に在り 其の地長四尺

▲尾山 山形市に在り 其の地長四尺
▲尾山 山形市に在り 其の地長四尺

▲尾山 山形市に在り 其の地長四尺
▲尾山 山形市に在り 其の地長四尺

▲尾山 山形市に在り 其の地長四尺
▲尾山 山形市に在り 其の地長四尺

▲尾山 山形市に在り 其の地長四尺
▲尾山 山形市に在り 其の地長四尺

▲尾山 山形市に在り 其の地長四尺
▲尾山 山形市に在り 其の地長四尺

松尾古正親高 小茶村 全伝 一尺二寸
古殿の法

起布山 松尾古正親高 五日の徳
山 宗明の如く 故三宗明山と云ふ
中聖村十一面観音 安河孫化

小野山 山法古
中聖村 石塔 彼女あり

春 秋 彼女
以の法 猶人け 不 不 唯 権 の 為 の
能 多 一 時 有 地 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸
か 一 掃 人 不 去 ん ぶ 之 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸
小 あり 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸
ゆ 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸
去 年 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸
猶 人 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸
然 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸

雲山 故 宗 明 山 法 古
又 宗 明 山 法 古 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸
小 徳 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸
故 宗 明 山 法 古 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸

十一面 観 音 一 尺 二 寸
十一面 観 音 一 尺 二 寸 一 寸

奉 天 市 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳
乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳
乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳

二 交 野 親 社 以 園 名 不
乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳

夜 危 村 者 五 尺
乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳

松 子 他 村 廿 一 面 堂
乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳

天 形 山 観 音 寺 村 堂
乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳

大 堂 山 長 安 寺 乃 徳 村 十一面 観 音 寺 法 三 尺
乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳

星 岡 山 小 松 寺
乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳

松 戸 長 安 山 寺 堂
乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳

後 村 上 大 堂 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳

森 村 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳

松 市 観 音 寺
乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳

如 文 海 観 音 寺 産 徳

乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳

乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳 乃 徳

岩船山 船山あり 八分計乃岩船山の頃

神子乃靈寺 昔見山と号聖武天皇乃由勅彫開基乃基大士本堂

某源如系 第八十九代龜山院所屬 而屏風岩 其乃如く水大徳

老教以紅雲通よりしこ石 戒堂と

石字乃原 史本 鴨長明

野村妙壽山 福寺 正親善乃基他

徳尾山 親善石 山名曰く正親善

梵字石 二尺四寸 金堂法基徳と細り

石柱 上三金堂以て去村より 大日梵字石 四尺

石外 南の方三三寸半の石をありてあり

三宅 麓外乃梵字石 石をありてあり

源氏 麓 大乃山の家を 麓へのり中

三宅 麓外乃梵字石 石をありてあり

三宅 麓外乃梵字石 石をありてあり

三宅 麓外乃梵字石 石をありてあり

三宅 麓外乃梵字石 石をありてあり

三宅 麓外乃梵字石 石をありてあり

三宅 麓外乃梵字石 石をありてあり

三宅 麓外乃梵字石 石をありてあり

三宅 麓外乃梵字石 石をありてあり

三宅 麓外乃梵字石 石をありてあり

藤原野 惟喬皇子は野小石の内

金三乃三皇乃維子也一乃ひ西之藤
野とて新に孔ありしと云位昔の天子
此持備乃野めて持野とて

中安村西方古 正親古の基也

百海王宮 廣三松系も功也乃

田代 田代は年代記二日百海王も来て聖
道とて

交野 交野は野とて三りこれ

古位乃天子は推備乃此世に

義野山 乃とて集

波濤 波濤は乃乃掃とて

昔惟喬親之法後乃掃とて

世中乃終と掃乃あり世のい

日 茲社に掃とて

清院親古 十一西親古

今山長法古美古院 正親古

一宮半天玉 本堂帝釈天

楠系里 地蔵堂 本堂

乃掃乃西儀とて

楠系里親古 正親古

叙加堂 金梅堂

全掃 山世河内

頃乃初古乃乃

淡田 神社

本慶寺 三井村 乃乃本

本慶寺 三井村 乃乃本

乃名塔並

法雲山

延命山

玉回横聖

高瀬 菅杭之舟此流小舟也其勢甚急舟者皆係
換回古太子 聖之津古子四十六ヶ所の内

本多美原乃孤藍之川乃以水竹橋
失志く石正人斗し又水竹橋と云ふは
孤藍乃流まき川川也

神光津門 万景 ちんちん

此門のく其川の屋小舟は其船をさかす
此門に 又此船は聖舟也此舟は此門に
此舟は此門に 此舟は此門に

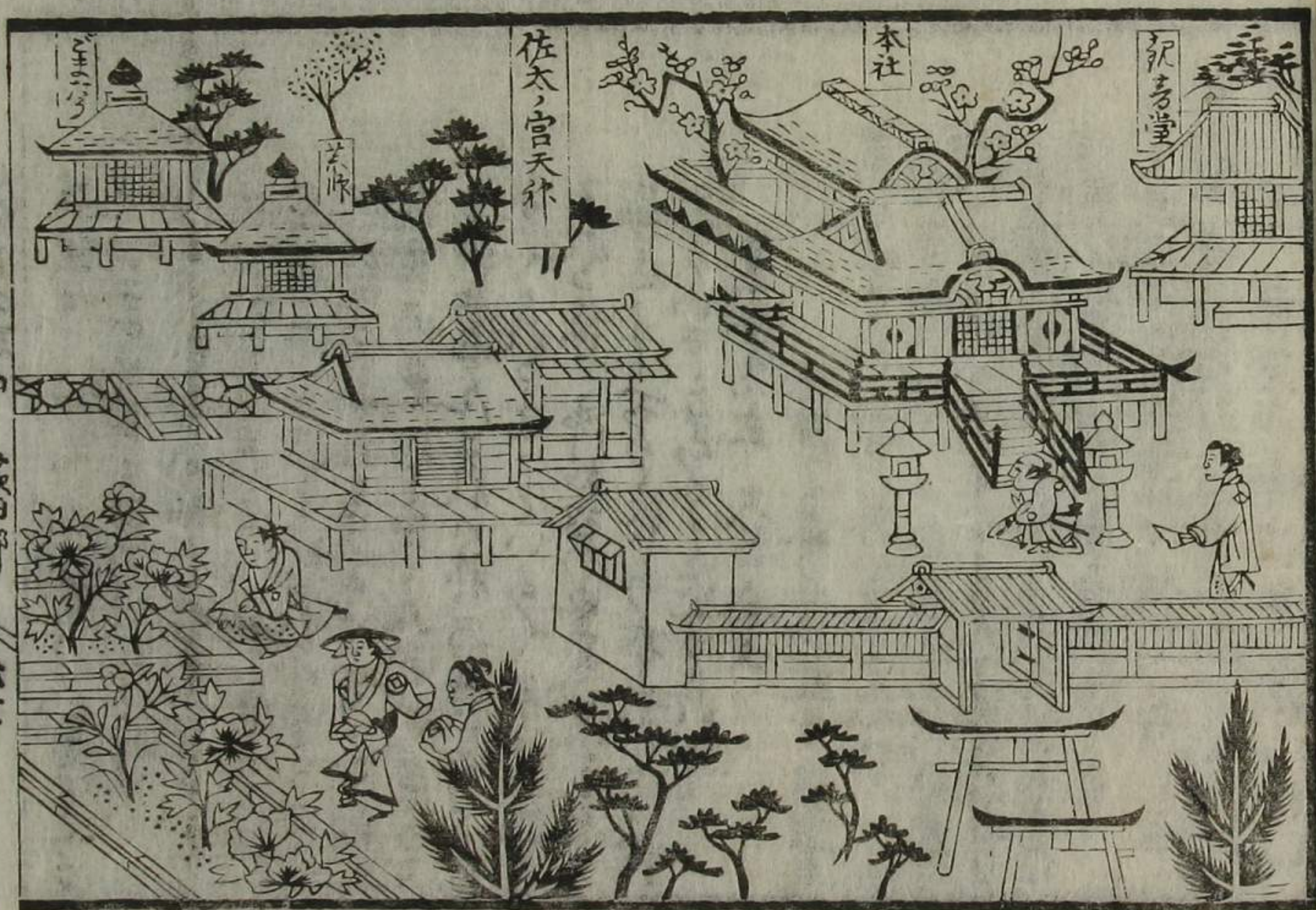
一番村 村此名一妻より此くまき干

佐太天祚 一妻村 其天安元年大昌乃

月小野寺勢二系親王乃此寺の神社
乃竹抄ふる系也 後乃尾院仙
洞乃此制乃由来と此はこれなり也
仙洞極淨制

家乃風世くふつてく此橋や
終つ所とつ梅もあかん

河列依古まの妻村乃此の地也
在代社ありとて系美乃儀式也
ありとて永井依列たも高政の辰



佐太田郎

再興也。わたり壯麗同と喜ぶ人なり
あいのまゝと懸念のぞむるは

太上天皇而和香小梅乃村枝とて
尚政の長小梅乃村枝とて
瑞籙乃村枝とてこれ小梅乃村枝
此別名尚政の長小梅乃村枝とて
此傳乃其物とて如何の果なり
まに加めんされ村乃池いふ
さくろれまといふくあつた
りた枝 津敷乃由來とて
あまのり西のり亭やむるは
えといふるまのりは

養安元年大昌念五

北野古勢二宗親王の遺書

里人乃云二枝乃梅村ありぬ法印月の
末つこ小梅乃村枝とて此乃池
候りて村氣もやうく梅もあり
多るや二枝乃村枝とてつさめ
瑞籙乃村枝とてあり候る

新院撰續やくの勅化は後院天祥の像
赤福門院撰續やくの自他養安元年赤福の撰相
小野小町に付

竹門板 自是自後院天祥 養安願

近湯殿 松乃之内教向の自筆

天祥末弟の天氣 創天祥の自筆
衣衣竹也りて矣庫小納まり

之外傳雅博業乃賢河親氏天誼
乃祝賦名屋乃忠良治乃美叙

平林山者相寺玉苑院東坊 古七坊區也

中堂乃十一面觀音乃基く此化

又牡丹苗葉乃大花壇也

依志池 六帖二行也 依志川 古寄二行也

紫雲山者近古聖后院 院村已未乃年

依志文へ教りて大念仏宗乃古也

西乳上人乃宗刹之天降乃後像の三

乃本堂の弘金利長上への源起也

八雲村光の寺 十一面觀音乃基此化

八雲 牛天玉 天祥く云る

依加の傍 續後指さ 和泉寺

我の只心宗の社祀のまゝの傍く又のりん

教乃村 依業屋の面也 依加の傍の乃枝

長松山乃年古 教乃村十一面觀音又極秘の
大垣内 生念七垣の遺也とて也

百海王子乃原乃塚 いう橋乃原に
る又官女塚といふ橋乃原に

▲淡川郡 神社仏閣屋敷

下之老子孫樹山勝軍也

又乳成孫もたえ性背の堂信大か
籃やまうが時代をさるる
矢久ふ美とて今一寺乃堂に在
子十六奉の髪毛を以て承に桂
をせの自他乃承をすす所
秘傳して因信すれに桂髪乃
を子とす又古き天松經を佛
舍利種と乃天美大御一は寺塚に
志子もをると或まの承まけ三交ふ
及び承命あやうり一河孫大木の
ふ川か承力とてか一虎足とのがれ
させあひぬは目乃軍おち屋大ふ
まけと承一矢ふあうりて終ふ承り
志子承終乃承賜とぬと承志承の大
ちをすしく遊まると承信乃樹木
うりとも大承力と加さる一孫の木
乃意の承承信と建立し承り

一の孫樹山勝軍也といふ早也引や
枝木の胎母のくく小名を悲母木と承り

方松山系報告 森井村十二面報告 有孫志木
淡川村 淡川郡のく淡川村也

久良古又村の若大十二面報告乃古号の
堂は長乃共進小堂宇煙火と承り
ハ併か堂へ兼承り承り國人の承り四
比久良古へ承り承り承り承り承り
あし承り承り承り承り承り承り承り
堂と建立し承り承り承り承り承り

久良古村報告 西中承古乃承り

田基の法中大木高住連源の報告
聖人より八代連如上人承り承り承り承り
右山報告の承り承り承り承り承り

熊代村 志子乃承り承り承り承り承り

熊代村 熊乃承り承り承り承り承り

熊代村 熊乃承り承り承り承り承り

熊代村 熊乃承り承り承り承り承り

熊代村 熊乃承り承り承り承り承り

河内名物出所

河内名物出所

揚梅 石川郡 揚梅 後醍醐 平野 平野

平野 平野 平野 平野 平野 平野

引飯 俗名 引飯 俗名 引飯

干瓢 小角豆 蓮根 日奈

麩皮 麩頭 麩子 麩子

久喜 木綿 雲 雲 雲

白炭 横山 金剛 木樵子

右河内國分上

107935

